

社会教育だより

SEIRO Syakai Kyouiku dayori

第316号
 編集・発行
 聖籠町教育委員会
 町民会館
 社会教育課
 ☎0254-27-2121
 図書館
 ☎0254-27-6166



司会を務めた(左から)
 阿部佳織さん(諏訪山)
 民谷 泉さん(網代浜)



8/15 (日) 新成人おめでとう!

9月	町民会館休館日	6日、13日、21日、27日
	トレーニングルーム休館日	6日、13日、21日、27日
	図書館休館日	6日、13日、20日、21日、23日、27日、30日

記念品贈呈



町長から
高橋江梨花さん(次第浜)へ
手渡されました。

戦没者黙祷 ～戦後65年に捧ぐ～



今夏の酷暑もようやく和らぎ、晴れて門出の日を迎えた新成人のみなさん。聖籠中学校を卒業した145名の皆さんが参加されました。
晴れやかさは毎回のことですが、今年はやかな浴衣姿も多く見られました。皆さんの前途に幸あれ！

成人式

ハタチの色模様

新成人のことは



(左から)
海津愛美さん(網代浜)
堀あずささん(網代浜)



花束贈呈



蓮野こども園
原 光希くん
渡邊愛梨ちゃん



小林大志さん(二本松)
加藤美郷さん(道賀新田)



恩師からの ビデオレター



「交通安全 20歳の誓い」



宮野和真さん(三ツ賀)
から町長へ署名簿が
手渡されました。



ヒアリングを 始めました

生涯学習推進計画審議会委員の皆さんが、広く各世代の姿をとらえるための活動を始めました。

高校生の姿

新発田市内の高校を訪問し、養護の先生おふたりからお話をうかがいました。

町に高校がないことから、委員の皆さんも「今の高校生の現状」がはつきりつかめないという戸惑いがあり、今回は赤裸々な高校生像が語られて貴重なヒアリングとなりました。

《語られた高校生像》

◎種をまかないと芽は出ません。基本的な生活習慣（あいさつ・返事・服装・掃除）が出来ていない子がいますが、小さい時から身につけて欲しいです。今は学校に求められるものが多いです。

◎「高校へ入りたいは出ていて欲しい」という親の希望もあって入学はしますが、夏休みに辞める生徒も多いです。

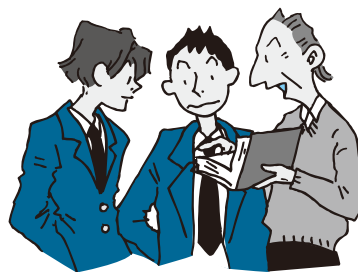
◎高校生にもなると親も大人扱いますが、体は大人でも心は子供です。彼らはかまって欲しい、声を掛けて欲しいと思っているのです。でも、親が手を放してしまいます。

◎問題を抱えている子供は、なんらかの形で家庭が崩壊しています。

◎地域で健康診断をする時などに、親の教育を行政側からしても欲しい。

(聖籠っ子の特徴)

- ◎大半はしっかりと勉強していて良い子です。
- ◎地元への愛着がとても強い。その反面、外に飛び出してチャレンジする意欲に欠けるように思っています。



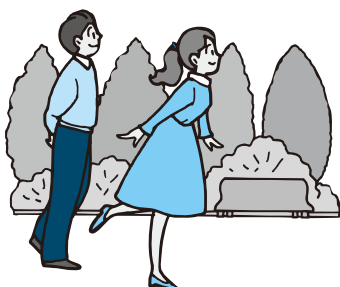
新成人の姿

成人式開式前の時間をいただいて、新たに成人となる若者がどんな考えを持っているのか……語ってもらいました。

47名の方の声を紹介します。なお、質問内容は全員同じではありません。「聖籠町は好き」と答えるものの、10年後に聖籠町で暮らしていると思う人は27人中8人だけでした。

《聖籠町のどんなところが好きですか?》

- ◎特産物がたくさんある。
- ◎住みやすい(住み慣れている)。



- ◎人とのふれあいがある。
- ◎コンサートがたくさんある。
- ◎自然がある。
- ◎人が温かい。
- ◎気兼ねしない。
- ◎果物が美味しい。



《10年後、どんな町になって欲しいですか?》

- ◎交通の便が良くなって欲しい(駅・空港が欲しい)。
- ◎今よりも都会になって欲しい。
- ◎お店がもっと欲しい。
- ◎働く場所(会社)がたくさん欲しい。
- ◎仕事環境が良くなって欲しい。
- ◎若い人がたくさんいる町であって欲しい。
- ◎いじめのない町であって欲しい。
- ◎今と変わらない町であって欲しい。
- ◎今より環境が良くなって欲しい。

週末体験クラブ
元気でいって

夏休み子ども陶芸教室を開きました

みらいのじぶんへのタイムカプセル、それが陶芸作品



趙先生から、粘土のあつかい方をおそわっています。

この日は、3小学校から、親子も含めて32人の参加があり、敬和学園大学 准教授、趙 晤衍（チヨウ オヨン）先生の指導の元で、大学の陶芸部の学生さんと、聖籠町陶芸サークルの皆さんにも助けて頂き陶芸づくりを楽しみました。子どもたちは板状の粘土をちぎったり、くっつけたり、こねまわしたりしながら、最初は手こずっていましたが、浮かんだイメージが形になっていくにつれて徐々に真剣な眼差しになり、「これは、私には思いつきませんね、子どもの感性は素晴らしい」と、趙先生をうならせるほど、ユニークな作品を作っていました。「もう、時間がないから急いでくださいー！」と言わないと、まだまだ創作にのめり込んでいきそうな、キッズ陶芸家たちなのでした。

※作品は11月の町の文化祭に展示を予定しております。

7月24日
形を作りました



大きな潮を噴き上げる、クジラです。



マニュアル慣れた子どもたちには、新鮮な、心の旅かもしれません。



板状の粘土に模様をつけていきます。

そして、絵付けの日がやってきました。サンドペーパーで表面を滑らかにしてから、焼き上がりをイメージして色をぬるようにと教わり、それぞれが自分の作品に、夢色の絵の具を塗っていました。



ウサギのうさじい？



これは、カモかもかな～

8月7日
絵付け作業



敬和学園大学陶芸部の学生さんのアドバイスも受けながら



クマちゃんです！



陶器で飲むビールは泡持ちがよく、最高に美味しいと教わると、目つき、手つきも変わったお父さんなのでした。

週末体験クラブ
9月の予定
3小学校全児童が対象

●町民会館アリーナ
9/11(土)
フリー遊び広場

●バスの旅、町民会館出発
9/25(土)
冒険キッズカメラ 募集定員 33人

随時募集中です
☎27-2121 町民会館
担当：藤田・高松
※9/25のキッズカメラ参加費/600円です

「わたしへのごほうび」講座

子育てをもっと楽しく！家事や子育てから少し離れ「自分自身の時間」をもち「リフレッシュ」するための4回連続講座（会場：結いハート聖籠）は、盛況のうちに終了しました。

6/1 (火)

第1回 はじめまして ゲームでコミュニケーション

スポネットせいろう 中村 正友さん

初めて参加された方や、毎年連続で参加していただいている方など、いろいろなジャンケンゲームを取入れ仲間づくりをしました。



★大声で笑い、久しぶりに体を動かしてリフレッシュできた。
またやって欲しい。

6/15 (火)

第2回 おやこでごろごろ おやこあそび

スポネットせいろう 中村 正友さん

成長・発達の違い（2ヵ月～3歳）子どもたちと家でもできるおやこあそびを体験しました。先生も初めての挑戦だったそうです。



★家にかえり、「おとうさんに教えてあそんでもらう」との声が聞かれました。

6/29 (火)

第3回 ココロもカラダもリフレッシュ ヨガ体験&心に届く講話

サンシャインスポーツセンター 伊藤 千賀さん

『ヨガは聞くより見るより体験する』

日頃意識していない筋肉を伸ばし、汗をたくさんかいてみなさんスッキリとした表情で体験しました。

『講話…惜しみなく愛情表現して欲しい』



★初めてのヨガで、カラダが硬くてびっくりした。
★少しずつ体が伸びて気持ち良かった。
★子育ての実体験が聞けて勉強になった。

7/13 (火)

第4回 和のココロを味わう お抹茶体験&交流〈自分語り〉

お抹茶友の会のみなさん

薄暗い部屋の雰囲気の中でゆった〜りと美味しい和菓子とお抹茶をいただきました。またお抹茶の会の方と「子育て自分語り」で交流をしました。



★かしまらず、お作法が分からなくても体験できて良かった。
★心がホッとする時間が過ごせた。

「子育てに疲れを感じたり、同じ立場の仲間がいることに勇気付けられたり」参加者のみなさんが少しでも和らぐお手伝いとして今後も講座が役立ってくれることを願っています。

冬には第2弾講座＝「カバンづくり」を予定しています。



聖籠昔ばなし

今回は少し趣向を変えて、新発田市に伝わる聖籠のお話をご紹介します。

このお話は、旧新発田町の白木忠治さんが語ったお話を、民俗学者の佐久間惇一さんが聞いてまとめた『しばたの昔話』という本に載っているお話です。



小判の虫干し

聖籠町藤寄に鬼ゴツチヨにまで、

「吉兵衛の巾着、絞れば金が出る。」

と歌われた長谷川吉兵衛という旦那様があった。その吉兵衛が貧乏になって、竹藪を売り、竹藪起こしをした。

秋のある天気の良い日だった。竹藪の脇から大ネズミが二匹、木の葉をくわえて出てきた。木の葉を日当たりのいいところに並べて、また穴へ入っていく。また木の葉をくわえてくる。しばらくすると、今度は小判を一枚ずつくわえてきて、その葉の上に並べて行った。つまり、虫干しをしたわけだ。



それを隠れて見ていた男は、

「しめた。」

と、小判を木の葉に包んで懐深く入れて知らんぷりしていた。三時ごろになり、日が西に傾きかけると、ネズミが小判を取り

りてきた。二匹はしきりに捜すが見つからない。やがて穴に入ってしまった。しばらくすると、茶碗の壊れたよ

うなものにくわえてきた。

何をするのかと見てみると、その中に手を入れて、オテント様を拝んでは穴に入っていく。茶碗の中にひとたれの水のようなものが入っているらしい。さあ、ネズミがぞろぞろ出かけて来ては、同じように水を手につけては拝んで穴に潜って行く。こんなに多くいるのかと思うほどのネズミの数である。

やがて、みな済んだのかネズミが出なくなったので、その父あも「俺もやってみよう」と思って、水をつけて拝んで、さて手を離そうとすると、くっついて離れない。

さあ大変と思うて足を手にやったら足ま

でくっついてしまった。

離そうとゴロゴロと転んでいるが離れるどころでない。そこへ大ネズミが二匹

やってきた。そして、懐の中にチヨロチ

ヨロと入り込んで小判を捜している。父

つあは、こちよばたいが、どうしようもない。

そのうちに、ネズミは小判をみつめてくわえて消えて行った。それから五分もたつと、手足がひとりでに離れた。



このほかにも『しばたの昔話』にはたくさんのお話が載っています。方言が聖籠のものとは少し異なるという点でも楽しめます。

聖籠町立図書館にも入っている本（郷土資料のため貸出はしていません）ですので、ぜひお手にとってご覧になってはいかがでしょうか。

出典：佐久間惇一『しばたの昔話』（1988）新発田市古地図等刊行会

原文の表現を損なわない程度に一部改変しました。ご了承ください。（作画：渡辺明公子）

せいろう少年少女合唱団

「聖豊はすがた園」訪問

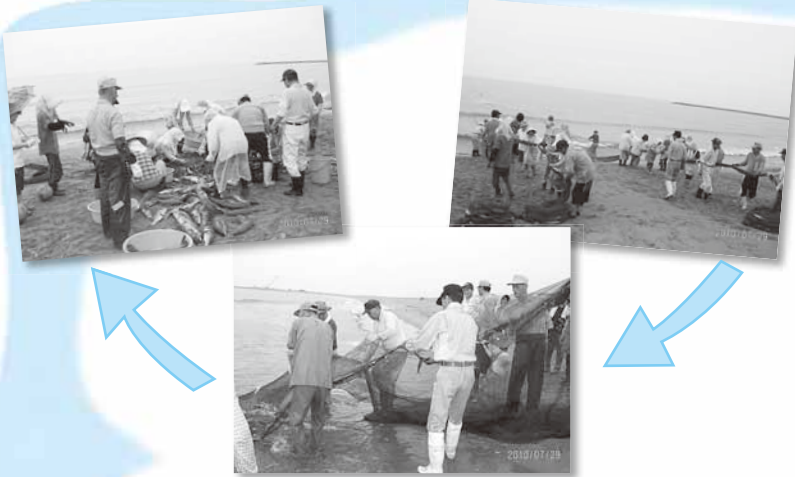
8月4日(水)、「せいろう少年少女合唱団」19名が、「聖豊はすがた園」を訪問しました。

おじいちゃん、おばあちゃんもこの日を待ちわびていたかのように迎えてくれました。一生懸命練習してきた歌「故郷」をはじめ、童謡10曲を披露し、子どもたちもあたたかい手拍子に合わせて、一緒に楽しく歌うことができました。

初めて「はすがた園」を訪問した子どもたちは、驚きと感動の時間を過ごすことができました。

最後に子どもたちから「いつまでも元気でいてね」「長生きしてね」というあたたかい手紙が渡され、「来年もまた会いに来るね」との嬉しい言葉に涙で見送りをしてくれました。また、来年も待っていてくださいね♪

子どもたちにとって、夏休みの思い出の1ページになりました。



聖山大学

7/29(木)

大漁に沸いた
網代浜海岸
季節の地引き網

大学の夏の風物詩、今年は猛暑なのに、この日の朝は小雨模様。少し心配でしたが決行と決め、6時から引き始めました。雨足も少し強い気がしながらも、皆さん懸命に網を引いたら何と何と……。大きなスズキが30匹以上、アジ・コノシロ・イワシもたくさん獲れました。

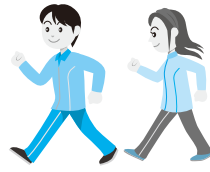
力仕事のあとは、力を合わせて引き上げた海の幸で朝ごはんです。男性も華麗な包丁さばきを見せ、魚を次々に刺身に仕上げていきました。



7/31
(土)

真夏の夜の町を 歩き通した達成感!!

去年は中止となってしまうたナイトウォークが復活しました。23名の参加者に役員を含めた30人余りの有志たちが、午後8時に町民会館前から夜の町に繰り出しました。全長18・2キロのコースに挑戦です!



最初は笑顔の参加者も、進むにつれて段々険しい表情になりました。でも、午前0時30分には全員ゴールした。ゴール後のお汁の味は格別でした。

全国大会等

出場激励金のご案内

町では、文化芸術またはスポーツ分野において、優れた成績を修めて全国大会等に出場される方に対して、申請により激励金を交付し、文化芸術及びスポーツ振興を図っております。該当される方は町民会館へお問い合わせください。

8月に交付された方をご紹介します。(敬称略)

● 全国大会

- ・ 天谷 友紀 (次第浜) 陸上競技
- ・ 田村 昌大 (次第浜) 球
- ・ 本間 莞汰 (正庵) 球
- ・ 萩原 拓実 (亀塚) 球
- ・ 田村 拓海 (次第浜) 球
- ・ 長谷川竜馬 (蓮湯) 球
- ・ 高橋 慶多 (亀塚) 球

● 北信越大会等

- ・ 高橋 海斗 (網代浜) 相撲
- ・ 天谷 友紀 (次第浜) 陸上競技
- ・ 聖籠WINGS (諏訪山) ミニバスケットボール

町民ホームベースから



育てた野菜で カレーパーティー!!

4月に生徒会で植えたジャガイモが順調に育ち、昼休みに芋掘りを行いました。そのジャガイモを使い、地域の方にも協力していただき、カレーを作りました。生徒も朝早く登校し、手際よく野菜の下ごしらえをしました。おかわりする生徒も多く、にぎやかなカレーパーティーになりました。



ジュニアの梅も本漬け終了

梅の収穫作業から始まった梅干し作りも、お天気に恵まれた土用干しを終え、本漬けの作業が無事に終了しました。今年も聖中フェスティバルで地域の皆さまに美味しい梅干しを販売できると思えます。楽しみにお待ちしております。



みらいのたねジュニアの野菜販売



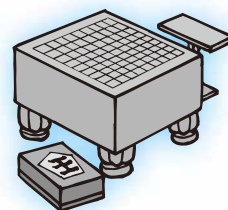
育てた野菜も地域の方にも食べていただきたい!と夏休み「ざぶ〜ん」で販売しました。

第1回聖籠町親善将棋大会

「聖籠町親善将棋大会」の記念すべき第1回目を開催いたします。
初心者、有段者、小・中学生…どなたでも参加OKです。
スポーツの秋ですが、頭の体操にいかがですか？



- と き** 9月19日(日)
受付 8:45~9:20 大会 9:45から
- と ころ** 町民会館「和室」
- 組 合 せ** Aクラス……………3段以上
Bクラス……………2段~1級
Cクラス……………2級以下 ほか、小・中学生のクラスあり
- 参 加 費** 1,000円(昼食・参加賞込み)
- 各 賞** 各クラス1位~3位 …………… 賞状および副賞
そ の 他 …………… 敢闘賞
- 対戦方法** 両どなり計6名との勝敗



主 催：聖籠町将棋同好会 <<お問い合わせ>> 聖籠町将棋同好会
後 援：聖籠町教育委員会 会 長 長 山 忍 ☎27-8535

第23回

Sports Festival

新潟県スポーツフェスティバル下越・新潟地区大会

参加チームを募集します!!

楽しく、気軽に、さわやかに。スポーツの感動を味わう県内の生涯スポーツの一大祭典です。
女子バレーボール、グラウンドゴルフ、バウンドテニスなど6種目の予選会が開催されます。奮ってご参加ください!

10月16日(土)に実施予定の年齢別ソフトテニス大会は、当町町民会館前テニスコートが会場となります。
詳しくは、下の表の<各お問い合わせ先>までお問い合わせください。

種 目	開催地	期 日	会 場	お問い合わせ先
グラウンド・ゴルフ	村 上 市	10/13(水)	村上市朝日多目的グラウンド ほか	村上市スポーツ振興課 ☎0254-72-6886
年齢別ソフトテニス	聖 籠 町	10/16(土)	町民会館前テニスコート	聖籠町社会教育課(町民会館) ☎0254-27-2121
女子バレーボール	胎 内 市	平成23年 1/23(日)	胎内市中条体育館	胎内市生涯学習課 ☎0254-47-3408
ソフトバレーボール	新 潟 市	平成23年 2/6(日)	新潟市鳥屋野総合体育館	新潟市スポーツ企画課 ☎025-226-2595
インディアカ	新発田市	平成23年 3/13(日)	新発田市加治川地区体育館	新発田市生涯学習課 ☎0254-22-9534
バウンドテニス	新 潟 市	平成23年 3/27(日)	新潟市東スポーツセンター	新潟市バウンドテニス協会 ☎025-268-8960

八代亜紀コンサート

デビュー40周年記念



2010

平成22年

10/10日

ところ

聖籠町文化会館
(聖籠町町民会館内)

開演

午後2時、午後6時 (2回公演)
※開場は開演30分前となります。

入場料

一般 5,000円 (全席指定)
※当日は500円増しとなります。

チケット発売

聖籠町町民会館のほか下記プレイガイドで発売中
(新潟市) 新潟伊勢丹
(新潟市) 下越音楽鑑賞協会

良い席は
まだまだ
あります!!

主催

聖籠町町民会館

後援

BSN新潟放送

お問い合わせ

聖籠町町民会館

☎0254-27-2121

(毎週月曜日は休館日です。)

今月の短歌

※聖籠町短歌会の作品 (平成二十二年七月) を紹介します。

幾年の繰り返す四季健やかに嵐もありて照る日もあらん
 夕暮れの胡瓜の水やり日課とし二十センチの食べ頃二本
 葦原の繁る川辺の土手に立つのみどを見せてよしきりは啼く
 水無月の歌会の窓に若竹は清々伸びゆ葉も開かぬに
 桐の町会津のみやげに下駄買ひて外歩きせむと店覗きをり
 機械刈りに鎌で参加の老いわれは済まなく思ふも村人温し
 夕暮れの蛙の声の少なり葦荊多く使ふ故なり
 日本晴れ雄花雌花を受粉する明日にはぼっこり膨らむ西瓜
 土手草を刈る機械音梅雨空に響き来たれば夏草匂ふ
 まっすぐに降りくる雨に南天の花こぼれ散り地は灰白し
 窓先に花粉散らしてミツ蜂の終日遊ぶ藤の花房
 久に逢ふ親族は温し面にある皺のさまえ似て楽しかり
 降りしきる雨に紫陽花あまた咲き花鮮かに庭明りする
 手術終え傷もいたまず話す義母お伊勢参りに行きたいという
 赤色の三年続きの日記帳二番目の子の慶事加わる
 母遊び我も遊びし杉木立緑の風にそよぎて立てり
 見上げれば大山木は花ざかり手のひらほどの花びらひろげ
 ケーキなど食すことなく旅もせずわが父母は真向きなりき
 朝掃除道路越しにご挨拶小まめに働く君の面影
 孫娘共に歩みて二十歳過ぐ「厳しき世相ね」初乾杯す
 陽を浴びて勢いをます夏野菜とうもろこしは小さき森に
 梅雨の雲捲るごとくにへリコプター呻り激しく頭上飛びゆく
 殺処分二十万とふ牛・豚に谷掘るさまに重機上下す


講師

阿部昌彦	渡辺久仁子	渡辺ルリ子	吉田エト	山口正幸	前澤春	本田ヨセ	星尾美枝子	平野増江	南雲敏美	中村玉好	豊島雪江	津野ヨシ	丹呉ヤエ	渋谷カツ子	斎藤經子	近藤トイ	近藤アキ	駒田文雄	小野真智子	小野ハナ	岩橋俊三	秋山美喜雄
------	-------	-------	------	------	-----	------	-------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	-------

日	曜	生涯学習施設	スポーツ施設
9/1	水		ⓧ 太極拳、ピラティス
2	木		ⓧ あそび場教室、ヨガ、硬式テニス教室
3	金		
4	土		
5	日		せいろうグレーブサッカー大会 ⓧ スポーツ少年団交流会、硬式野球教室
6	月	休館日	休館日
7	火	ちいさなお話タイム（図書館内11：00～） 夜間図書館（夜8時まで）	ⓧ 移動あそび場教室、エアロビクス、ピラティス
8	水	移動図書館車（蓮小）	ⓧ 太極拳
9	木	移動図書館車（山小）	ⓧ あそび場教室、ヨガ、硬式テニス教室
10	金	移動図書館車（亀小）	
11	土	（週末体験クラブ）フリー遊び場（町民会館アリーナ） 古文書に親しむ講座（いにしえ） 移動図書館車（藤寄・東山・亀塚児童館）、紙しばい会	ⓧ フリースポーツ
12	日		聖籠町近郷バウンドテニス大会 秋季ソフトボール大会 ⓧ 硬式野球教室
13	月	休館日	休館日
14	火	ちいさなお話タイム（図書館内11：00～） 夜間図書館（夜8時まで）	ⓧ 移動あそび場教室、エアロビクス、ピラティス
15	水		ⓧ 太極拳
16	木		ⓧ あそび場教室、ヨガ、硬式テニス教室
17	金		
18	土		
19	日		ⓧ 硬式野球教室
20	月	敬老の日 休館日（図書館）	
21	火	休館日	休館日
22	水	移動図書館車（蓮小）	ⓧ 太極拳
23	木	秋分の日 休館日（図書館）	
24	金	移動図書館車（亀小）	
25	土	（週末体験クラブ）冒険体験キッズカメラ（町民会館） 古文書に親しむ講座（いにしえ） 移動図書館車（藤寄・東山・亀塚児童館）	ⓧ フリースポーツ
26	日		ⓧ 硬式野球教室
27	月	休館日	休館日
28	火	ぐるんぱの部屋（図書館内） 夜間図書館（夜8時まで）	ⓧ 移動あそび場教室、エアロビクス、ピラティス
29	水		ⓧ 太極拳
30	木	図書館月末整理日（休館日）	ⓧ 東新潟火力発電所長杯卓球大会、あそび場教室、ヨガ

※ 上記予定は、変更する場合があります。詳しくは、町民会館またはスポネットせいろうへお問い合わせください。
（問合せ先は、いずれも☎0254-27-2121までお願いいたします。） ※ⓧは、「NPO法人 スポネットせいろう」の略。

編集の
窓から



幸せのはかり方って、きつとないのでしょね。その人その人の「これが私の幸せ」という形だけがあつて、それは他人にわかつてもらう必要のないもの。その人の形だから。

この小さな町で成人式を迎えた人たちが今年も集いました。中には新たな命を宿した人もいて、これも幸せの形。中学校を卒業してわずか5年。集った誰もがみな5年間を過ごしたのです。再会した友人を、どのように見て、感じたでしょうか。

幸せを感じる一方、戦後65年の月日がとても重い。成人式の場において、ふと「この人たちは日本とアメリカが戦争したことを知っているのだからか」と思ってしまった。テレビの街頭インタビューで笑顔を振りまきながら、それを聞かれてあっさり「知らなくい」と言う場面を見て、他者を思う気持ちを持って欲しいな、と感じたことを思い出しました。

毎年繰り返される「戦後〇年」という言葉。そこに年々積み重なる幸せの形。見ていて実は見えていないこと、たくさんあります。新成人の前途の幸せを念じます。

(M)

夏休みの図書館

ちいさなおはなしタイム



夏休みの宿題お助け図書特集!!



小さな利用者が増えました



山倉小学校 8月5日(木) 暑い中、夢中になって 本を読んでいる男子



蓮野小学校 8月4日(水) きちんと整理整頓された カウンター



亀代小学校 7月30日(金) 靴をぬいで「ホッ」とできる スペース



今年はとても暑い夏休みでした。涼しい図書館は、朝からたくさんの利用者と賑わいました。「ちいさなおはなしタイム」(毎週火曜日午前11時から)では、ボランティアの渋谷貴子さんの読み聞かせで、ゆっくりした時間を過ごしたり、夏休みの宿題を解決するため、自由研究、読書感想文、工作……。ずっと立ち止まって悩んでいる子どもたち。そして今年は、お母さんやお父さんに抱っこされたり、よちよち歩いてやってくる、とても可愛い利用者がたくさん増えました。この子たちが大人になった時「いつも身近に図書館がある」そう思える図書館でありたいと思います。

毎年、学校の司書教諭・学校司書のみなさんと「学校図書館担当者会議」を年に2回開催しています。今年度の1回目は、3小学校の学校図書室で会議をしました。3小学校の図書室はそれぞれに、広さも環境も違いますが、学校司書のみなさんの想いとアイデアそして、人のいるあたたかさを感じました。

子どもたちが上級生になっても、楽しく「本」とかかわりを持ち「本」と離れずにいることができるか……。様々なことが話し合われました。



私の一冊

町立図書館館長 伊藤 雅彦

今回は、「体温免疫力で病気は治る(分類491)」です。安保徹(あほ・とおる)著です。安保氏は、免疫学で著名な方で、本も何冊か執筆しています。この本を知る前に、安保氏の名前を知ることになりました。私事で、昨年二月病気を患い、従妹が、「この本を読んでみたら」と貸してくれたのが、氏の著書でした。それまでは、どこのだれか全く知りませんでした。この本は、町の図書館にありました。いつもなら、館内中央の小説の書架で足を止めていましたが、病気をしたおかげで、その隣左の書架490の「医学・薬学」に目がきました。本には、自己体温が36・5度よりも低いと病気になるやすい。36・5度より高いと、免疫力も高まるため病気になるにくいとあります。興味を引いたのは、終わりの章に「人生はおもしろい。思ったとおり生きることなどだれにもできない。紆余曲折、山あり谷ありだから人生は楽しい。多少のつまずきや間違いがあってもそれはね返す力がだれにでもある。」ということです。現在、医療関係では三人に一人は、ガンであると言われています。ガンを患うことは、人生で大変な出来事ですが、そうならないため、検診等で自分の体の状態や体のメカニズムも知っておき自分の感性を磨く等、改めてこの本から知ることができました。